

【令和2・3年インフルエンザ流行期に使用】
(小・中・高校生用)

インフルエンザによる出席停止の通知書

お子さんは、インフルエンザのため、学校保健安全法第19条により、他の人に感染させる恐れのある期間は出席停止とします。インフルエンザの出席停止期間の基準は下記のとおりです。

＜インフルエンザの出席停止期間の基準＞
「発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日を経過するまで。」

インフルエンザと診断を受けた場合は、十分療養し、回復してから登校するようにしてください。また、登校にあたっては、医師の指導のもと、保護者の方が下記の「インフルエンザにおける療養報告書」を記入し、学校へ提出をお願いします。(なお、医師の診断により5日を経過せず登校が可能となった場合は、治癒証明書の提出が必要となります。)

インフルエンザにおける療養報告書は、学校のホームページからダウンロードすることもできます。

別紙の「出席停止期間のめやす表」を参考に保護者が記入

【様式1】

学校長 様

インフルエンザにおける療養報告書

年 組 氏名 _____

1 診断を受けた医療機関： _____

2 診断日：令和 年 月 日 (診断型：A型 B型 不明) ※いずれかに○をつけてください。

3 登校再開日：令和 年 月 日

(登校再開には下記の出席停止期間の基準1と2の両方を満たす必要があります。)

※下記に「発症日」と「解熱した日」を記入してください。

出席停止期間の基準	
1	発熱等の症状が出た日(発症日)を0日とし、翌日から数えて5日を経過している。 ⇒ 発症日： 月 日
2	解熱した日を0日とし、翌日から数えて2日を経過している。 ⇒ 解熱した日： 月 日

上記のとおり相違ありません。

令和 年 月 日

保護者氏名 _____ 印